

## 日本博総合推進会議（第2回）

### 議 事 要 旨

- 日 時：令和2年3月12日（木）17：20～17：45
- 場 所：官邸4階大会議室
- 有識者：小林委員、小松委員、島谷委員、高階委員
- 政府等：安倍内閣総理大臣（議長）、菅内閣官房長官（議長代理）、岡田内閣官房副長官（議長補佐）、橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、竹本内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略）、萩生田文部科学大臣、赤羽国土交通大臣、西村内閣官房副長官、尾身外務大臣政務官、杉田内閣官房副長官、長谷川内閣総理大臣補佐官兼内閣広報官、古谷内閣官房副長官補、宮田文化庁長官、平田内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局長、田端観光庁長官

- 1 開 会
- 2 議 事
  - （1）日本博について
  - （2）意見交換
- 3 総理発言
- 4 閉 会

（司会：岡田内閣官房副長官）

#### 1 開会

冒頭、岡田内閣官房副長官から、以下のとおり説明があった。

- 2019年より全国各地で開催している「日本博」は、皆様の御協力のおかげで、既に400件以上の魅力あるプロジェクトの展開が決まっている。
- 2020年は、オリパラ開催年であり、「日本博」もいよいよ本番の年となる。関係府省や文化団体等とも緊密な連携を図りながら「日本博」の成功をより確実なものにするためにも、本日皆様方には、忌憚のない御意見を頂戴したいと考えているので、御協力のほどよろしくお願ひしたい。

○総合推進会議の公開・非公開の扱いや資料の取扱い等については、資料2のとおりとさせていただきたいので、御了承願いたい。

## 2 議事

### (1) 日本博について

宮田文化庁長官より、資料3に基づき、日本博について説明があった。

### (2) 意見交換

次に、各委員等による意見交換が行われた。主な発言は以下のとおり。

#### 【小林委員】

○約400件のプロジェクトの展開が決まっており、国公立相当の美術館・博物館・研究所をはじめとして地方自治体、さらに任意団体に至るまで、極めて個性的であり、かつ魅力的な内容を我々は見ることができた。いよいよ来年度は2年目の大きな山場を迎えるわけだが、これについては、予算的にも一回り大きく膨らんで、その取組の効果を大いに期待している。

○文化の発信というのは、表現は悪いかもしれないが、地味である。しかし、継続的に地味なこの事業というものを展開していただきたいと思いますと思うし、ボクシングに例えればボディブローを盛んに出していくという感じがしており、ぜひとも4月以降の来年度、そしてその次の年に終わらずに、それ以降も視野に入れた展開を期待してまいりたいと思うので、よろしく願いたい。

#### 【小松委員】

○昭和49年に東博に採用していただいて以来、ずっと博物館でやってきたが、今年度の「日本博」を見ていて、同じ日本の伝統文化を扱うにしても、これほど幅の広い分野があるのかと感じた。自分が無知だったといえればそれまでだが、大変に幅広い分野があって、それを今まで横断するような、連携するような試みが足りなかったように思う。「日本博」によって、そういう各分野が横断あるいは連携するような成果が出ればいいなと思っている。

○2020年度に予定されているプロジェクトも、大変にいずれも力が入った企画であり、甲乙つけがたいところだと思う。これらが一斉にスタートすることによって、オリンピック・パラリンピックの年にふさわしい、文化的に充実した空間が現出するのではないかと大いに期待している。

### 【島谷委員】

- 世間は非常に難しい時期であるが、適切に対応していただいたことにまずは感謝申し上げたい。
- 「日本博」については、小松委員からも発言があったが、今まで個々ではできなかったような取組が、この支援によって大いに進展していると思う。事業主体において知恵を絞るといことが進んでいるので、これは次年度以降、とても楽しみにしているところである。
- 小林委員からもお話があったが、「日本博」はぜひ継続して行ってほしい。ユネスコでもSDGsという言葉が定着しているが、継続していくことに意味があり、そのためにも毎年続けて行っていただければありがたいと考える。
- 各博物館・美術館が国際交流と多言語化の推進で外国に視野を向けた仕事をしているが、これに関しては、外国だけに目を向けているわけではなく、多言語化、外国に目を向けることによって、我が日本人に分かりやすく説明するということが進展していると思う。このところを強調して、日本の人にも日本の文化を分かっていたく取組であるという意味においても「日本博」というのはとてもよかったと思う。
- 今までは自前の予算だけでは十分ではなかったが、「日本博」のおかげで各事業が随分前向きになってきた。これを使っている所を拠点に、さらに推進していけばいいと考えており、大変期待している。継続的にやっていただきたいということをお願いして、私の意見とさせていただきます。

### 【高階委員】

- 「日本博」は昨年度以来、大変幅が広い、いろいろな分野にわたって展開されている。一口に芸術というが、実はいろいろなものにつながっている。そのつながりとして、「日本人と自然」という一つのテーマ、全体の考え方が出てくる。
- 例えば、最近では和食が大変ブームであるが、「日本博」において和食の展覧会を実施する予定である。和食は日本の自然、人々の知恵である。もちろん、自然食品を生かすが、同時に、外国の方は余り知らないが、日本ではそこに人々が知恵を出し、発酵食品、例えば味噌や醤油が大変重要な味わいになっている。そういうことはなかなか外国の方々には知らない。その和食について、縄文以来の歴史を「日本博」で見せていくことになっており、大変期待している。
- そのほか、外国の方に大変人気のある歌舞伎は、非常にシンボリックなものと結びついている。さらに言えば、神様へのお神楽とか神舞と実はつながっており、神様にささげる踊りを、しかし同時に我々も楽しむ。それが一般の

人々にとっては盆踊りにまでつながった。そういう生活文化と信仰や宗教や、あるいは意識、自然観と結びついている。

- 芸術でも、美術などは大変優れているけれども、工芸品はマイナーアートとして小芸術だといわれる。実は日本では工芸品も大変優れたものがある。
- 木の彫刻、木の建築というものも実は大変重要であって、例えば正倉院のような立派な建物で、日本はこれだけ湿気があって、台風が来るのに、世界で一番古い木造建築が法隆寺で残っており、文化がつながっている。それは自然を大事にする日本人の知恵というものが実はそこに生きている。
- そういうことが外国の方もだんだん分かってくるようになってきている。この「日本博」の様々な試みを通じ、それぞれ優れた日本的な美意識、自然観が出てくると同時に、日本の文化というものはそういうジャンルとか、あるいは人々の身分とかで分けしないのだという、大変に人々全てにつながる、優れた美をつくり上げていく、今もなおそれを続けているものだということが伝わってきていると思う。
- 外国の方に人気の漫画も、あれは子供だけのものではなく、しかも非常に高度な技術も使っている。この「日本博」を通じて私もいろいろと考えさせられた。「日本博」を通じて、日本文化の持っている特質を広く発信してほしいと思っている。

#### 【萩生田文部科学大臣】

- いよいよ開幕が迫っている東京オリパラ大会は文化の祭典でもある。「日本博」は大会の期間中はもとより、その前後を文化の力で彩っていく史上最大規模のプロジェクトとなる。
- 現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先とし、今週末に予定していたオープニング・セレモニーは、宮田長官とも本当に悩んだ末に、残念ながら中止とさせていただいた。
- 一方で、こうした感染防止に取り組む期間を積極的な助走期間として、将来の反転攻勢のための魅力的なコンテンツを整備するため、当初予定していた実演はスタッフのみで収録をして、後に発信することにさせていただきたい。
- 今後は「日本博」の各プロジェクトの早期再開にも努め、創造力あふれる様々な企画を全国各地で展開していく。本日皆様よりいただいた御意見も踏まえ、「日本博」の成功に向け、担当大臣として全力を尽くしていくので、引き続き御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### 【橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

- いよいよ本日、ギリシャにおいて2020年東京オリンピック・パラリンピック

の聖火が採火され、国内でも3月26日、福島から聖火リレーがスタートするなど、東京大会に向けた機運が高まってくる。

- 現在、政府を挙げて新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでおり、安心・安全な大会開催に向けて、今後とも関係機関と緊密に連携を取りながら準備を着実に進めてまいりたい。
- 東京大会はスポーツのみならず、文化の祭典でもある。「日本博」は文化で大会を盛り上げる上で中核的な事業であり、大会の成功にとっても大変重要であると考えている。
- 「日本博」は大会に併せて、日本を訪れる多くの方々に日本文化の魅力を体験していただく貴重な機会でもあり、成功に向け、引き続き皆様と連携して取り組んでまいりたい。

#### 【竹本内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略）】

- 昨年9月にクールジャパン戦略を策定した。外国人に対して日本の魅力を適切に発信し、日本に来てもらい、日本の魅力に触れてもらうことで日本を好きになってもらうことがクールジャパンの目的である。
- 日本文化は日本の魅力を代表するもの。伝統的なものから、漫画・アニメなどポップなものまでを含む幅の広さ、これが日本文化の大きな特徴である。「日本博」は外国人に対して日本文化を適切に発信し、日本への関心を深めてもらう取組であり、クールジャパンの強化にもつながる良い機会だと考えている。
- 「日本博」を含め、クールジャパンに関する様々な取組がより効果的に行われるよう、関係省庁とも密に連携しつつ進めていきたいと考えているので、よろしく願いしたい。

#### 【尾身外務大臣政務官】

- 「日本博」は東京オリンピック・パラリンピック競技大会などの機会を捉えて、訪日する外国人に対して我が国の文化を体感いただく絶好の機会と考えている。外務省としても、「日本博」の開催が海外における親日感の醸成やインバウンド観光の促進につながることを期待しており、対外発信を強化すべく、文化庁とも協力しつつ、海外での広報活動を積極的に実施してまいりたい。
- 具体的には、各在外公館において、ポスター、チラシ及びパンフレットを活用して「日本博」を紹介するほか、各在外公館のSNSやホームページを通じて積極的に周知・広報していく。
- 外務省は、在外公館及び国際交流基金を通じるなどして、海外で日本の多様

な魅力の発信を行っている。「日本の美」を海外でしっかりと発信すべく、本日御出席の委員の皆様や関係各省庁と一層連携してまいりたいと思っている。引き続き、御支援のほど、よろしく願いしたい。

#### 【赤羽国土交通大臣】

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じて、世界中から我が国が注目される中、「日本博」関連事業を全国で展開することにより、多くの訪日外国人旅行者に地方に足を運んでいただき、各地域の文化を含む多様な魅力を実際に体感していただきたいと考えている。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、我が国の観光を取り巻く足元の状況は大変厳しいものがあるが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会と並んで「日本博」の開催を反転攻勢のきっかけにしてまいりたい。
- そのため、国土交通省としては、①日本政府観光局（JNTO）による「日本博」関連情報などの積極的な発信、②地域の様々な文化、芸術、食、自然などの観光資源の魅力を伝えるための多言語解説、③ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備などの取組を強力に推進していく。

### 3 総理発言

（報道関係者入室）

安倍内閣総理大臣より、以下のとおり発言があった。

「日本博」は、津川雅彦氏が座長を務められた「日本の美」総合プロジェクト懇談会から構想が練られたものであり、本年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを契機に、我が国の文化や美が世界の至るところに発信され、より深い理解につながっていくことを目指すプロジェクトとして具体化を進めてきた。

そして、本推進会議の設置以降、宮田長官から本日報告があったとおり、これまで様々な展覧会やイベントが実施され、国内外の多くの方に我が国の魅力が発信されている。

残念ながら、今週予定されていた日本博オープニング・セレモニーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、開催を中止することとした。

現在は、感染の拡大防止に全力を挙げているが、終息が視野に入った段階では、日本のすばらしさを国際社会に向けてアピールするため、「日本博」を一層強力に推進していくこととする。

このため、本日、委員の皆様からいただいた貴重な御意見を基に、「日本博」が、縄文時代から現代まで続く「日本の美」を各分野にわたって体系的に展開する試みとして、より充実した内容となるよう、文化庁が中心となって、関係府省が連携して、さらに取組を進めてほしい。

(報道関係者退室)

#### 4 閉会

(以上)